



# 若竹だより



## 【巻頭言】

### 若竹天国

—よく眠れる学園でありたい—

園長 野田大燈

3月 は 年 年 歳 歳 お 別 れ の 時 節 で す 。 更 に 若 竹 学 園 は 児 童 養 護 施 設 と 異 な り 児 童 心 理 治 療 施 設 で す の で 、 当 初 の 目 的 で あ る 自 立 の た め の 治 療 が 了 る と 帰 っ て い き ま す 。

在 園 期 間 は 個 々 の 状 態 に よ っ て 様 々 で す が 、 平 均 2 年 と 言 え ま し ょ う か 。

誰 1 人 と し て 好 ん で 入 園 し て い る 児 童 は い ま せ ん が 、 家 庭 の 事 情 や 本 人 の 状 況 に よ っ て 入 所 し て い る の で す 。

せ め て 在 園 中 は 楽 し い 生 活 を 過 ぎ て ほ し い と 願 っ て い ま す 。

そ の た め に は 園 生 と 如 何 に 関 わ れ ば よ い か 、 と 職 員 は 何 時 も 考 え て い ま す 。

カ ウ ン セ リ ン グ を 行 う の は 心 理 職 で 、 保 母 ・ 指 導 員 は 園 生 の 世 話 係 、 と 思 わ れ て い る 方 も お ら れ る か も し れ ま せ ん か 、 保 母 ・ 指 導 員 名 は よ き お 姉 さ ん お 兄 さ ん 、 又 は お 父 さ ん ・ お 母 さ ん で あ ら ね ば な り ま せ ん 。

本 人 に と っ て は 実 の ご 両 親 や 家 族 に 代 わ れ る 人 な ど あ ろ う は ず が な い の で す が 、 だ か ら こ そ 生 活 処 遇 職 員 は 苦 悩 す る の で す 。

そ こ で 考 え た の が 、 職 員 の 最 も 得 意 と す る 技 (ス ポ ー ツ や 趣 味) を 活 か し て 園 生 た ち と 関 わ る こ と で し た 。

自 分 が 得 意 で な い こ と を 通 し て 園 生 に 関 わ れ ば 職 員 自 体 も 疲 れ を 覚 え る だ ろ う し 、 園 生 に 見 抜 か れ て し ま い ま す 。

職 員 が 生 き 活 き と し て 関 わ れ ば 以 心 伝 心 し て 園 生 も 生 き 活 き し て き ま す し 職 員 と 園 生 の と の 関 わ り は 深 ま り 信 頼 度 も 高 ま り ま す 。

そ の 意 味 で ご 両 親 に は 申 し 訳 な い の で す が 「 楽 し く て 家 に 帰 り た く な い 」 と 言 わ れ る よ う な 学 園 で あ り た い と 願 っ て い ま す 。

信 頼 関 係 が 深 ま れ ば 退 園 し て か ら も 困 っ た こ と に 遭 遇 す れ ば 「 A 先 生 に 相 談 し て み ょ う 」 と 思 っ て く れ る と 考 え る の で す 。

人 は 人 の 影 響 を 受 け て 成 長 し ま す が 、 若 竹 学 園 に は 周 囲 に 自 然 が い っ ぱ い あ り ま す 。

よ き 先 生 、 そ し て 大 自 然 の 中 で 伸 び 伸 び と し た 生 活 を 通 し て 個 性 豊 か な 人 間 に 育 っ て ほ し い の で す 。

難 し い か も し れ ま せ ん が 「 娑 婆 世 界 」 と 言 う 言 葉 が あ り ま す 。

『 こ の 世 の 中 は 自 分 の 思 い 通 り に な ら な い と ころ 』 と 言 う 意 味 で す 。

現 実 社 会 で 苦 し い 体 験 を さ れ た 方 な ら 納 得 さ れ る と 思 い ま ず が 、 や が て は 園 生 た ち も こ の 娑 婆 世 界 で 生 き て ゆ か ね ば な ら な い の で す 。

そ の 現 実 に 直 面 し た 時 に 学 園 で の 先 生 と の 関 わ り や 野 山 を 駆 け 巡 っ た 体 験 が 心 の 支 え や 我 慢 力 に 繋 が れ ば よ い と 思 い ま す 。

ま た 新 た な 年 度 と な り 、 新 し い 園 生 が や つ て 来 ま す 。 「 若 竹 学 園 を 選 ん で く れ て あ り が と う 」 と 迎 え た い と 思 い ま す 。

—了—

# お別れ旅行 in 大阪

今年も 2 月 26 日、27 日、子ども達と一緒に  
お別れ旅行に行って来ました。今年も大阪  
府と兵庫県方面です。

いつもより早い時間に起きる予定でしたが、  
みんな楽しみ過ぎて、それよりも早くから起  
きてきて、着替えたり荷物を確認したりとそ  
わそわ準備をして出発しました。

1 日目の天候は残  
念ながら雨でした。  
最初に行ったユニバ  
ーサル・スタジオ・  
ジャパン (USJ)  
では、雨合羽を着て  
の移動になりました。



USJ 内ではグル  
ープ行動になります。  
雨にも負けず、数々  
のアトラクションを  
楽しんでいました。

またアトラクショ  
ンだけでなく、ショップごとに置いてあるお  
土産物も楽しみの一つのようなようです。ショップ  
を巡って、ストラップやペンなどを買って  
いました。

今年の USJ では新しいエリ  
アであるウィザーディング・ワ  
ールド・オブ・ハリーポッター  
にも入ることが出来ました。ス  
クリーンの中で見た事のある世  
界が広がっており、わくわくし  
ながら写真を撮ったり、ハリー  
ポッターの中で出て来るグッズ  
を買ったりしていました。



ホテルは毎年、USJ に近い所に泊まっ  
ています。

ホテルの食事もしみの一つです。夕食、  
朝食ともにバイキングで、普段学園で食べる  
ことが出来ないようなメニューが楽しめる  
と人気です。お寿司やチョコレートフォン  
デュタワーなど、目をキラキラさせなが  
らお皿を持って何往復もしていました。

お部屋  
中では、お  
菓子パーテ  
ィをしたり、  
買って来た  
お土産を広  
げたりして、  
1 日楽しか  
ったことを  
話しながら眠りに  
つきました。



2 日目、最初は神戸市立王子動物園に行き  
ました。お目当てはパンダとコアラです。四  
国にパンダはいないので、とても楽しみに  
していました。



意外と人気  
があるのが  
爬虫類エリ  
アです。珍  
しい小さな  
亀を見て、  
写真を撮っ

て！とせがま  
れました。他  
にも、カンガ  
ルーやクマ、  
ゾウなど、い  
ろいろな動物  
を見て楽し  
みました。



# ● 兵庫

## 2 月 26 日 27 日

その次に、神戸海洋博物館、カワサキワールドへ行きました。神戸港の歴史、船の模型を見学したり、新幹線やヘリコプターの実物の展示を見学しました。中でも人気だったのが、バイクの展示スペースです。Kawasakiの歴代マシンやレース車など、男の子たちがこぞって眺め、展示されてあるバイクを触ったり、実際に乗って写真を撮ってもらっていました。

旅の最後は、淡路島牧場にて乳搾り体験とバター手作り体験をしました。



大きな乳牛を前にしり込みしながら、おそるおそる牛に触っていました。「出ない！」と困りながら、どのくらい握ると出て

来るのか、具合を確かめながら搾っていました。

そのあと、バターを手作りしました。一人ひとり小さな容器に牛乳と生クリームを入れて、ひたすらシェイ

クしました。上手な子は 10 分程で、バターと低脂肪牛乳に分かれ、その牛乳とバターを美味しく頂きました。

淡路島牧場を後にし、うどん屋で夕食を食べて学園に帰ってきました。

旅行に行くと、子ども達のいつもと違った一面を見る事が出来ます。また楽しい旅行に行きましょう！



### おわかれりょうこ

小 5 男児

さいしょに、ユニバーサルスタジオジャパンにいきました。スヌーピーのぬいぐるみとおねえちゃんのおみやげをかいました。

そして、Aくんとスヌーピーの乗り物にのりました。とてもたのしかったです。お昼ごはんは、マクドナルドにいきました。いっぱい食べて、おなかいっぱいになりました。夜ごはんは、バイキングでいっぱい食べました。

その次の朝もバイキングでした。とてもとてもおいしかったです。おうじどうぶつえんに行きました。そこでレッサーパンダのぬいぐるみをかいました。950 円だったので、やすいと思ってかいました。パンダゲームもかいました。リバーシにていておもしろいです。バスのうんてんしさんも 2 日間がんばっているなと思いました。その次にカワサキワールドにいきました。テレビをみて心にのこりました。いい思い出ができました。

その次に、うしのちちしぼりにいきました。あわじしまうまれの Bくんは、ちちをしぼるのが、とくいでした。バターづくりとチーズづくりをしました。そしてクラッカーにつけてたべたらむちゃくちゃおいしかったです。バターづくりは、ふってつくるので、めちゃくちゃつかれました。そしてさいごにラーメンをたべました。おおもりで、めっちゃおいしかったので、もう 1 回たべたいです。

# 卒園式

## 卒業証書授与式

春の温かさを感じる 3 月 20 日、卒園式・卒業証書授与式を行いました。



中学校、小学校を卒業する 8 名が証書を堂々と受け取る様子に驚きながらも頼もしく、成長を感じることが出来ました。

各担当者より卒園生を紹介した際、学園生活を思い出し、涙する子もいました。

中学 2 年生が送辞を、中学 3 年生代表が答辞を述べました。在園生も真剣な表情で参加し、記念品を手渡ししながら、卒業を祝い、卒園を激励しました。

今年は、特別活動の表彰を行い、学園生活で頑張ってきたことを称えました。



式の後には若竹太鼓の演奏をし、記念撮影をしました。

当日、保護者の方をはじめ、原籍校、児童相談所、日頃からご支援下さっている多くの方々に見送られ、盛大に卒園式・卒業証書授与式を行うことができました。ご来園頂き、ありがとうございました。

～御寄附ありがとうございました～

(株)高岸工務店 代表取締役 松木 恭一様  
より卒園式のお祝いを頂きました。

## 3月行事

- 4 日 買物学習
- 13 日 ホワイトデーお菓子作り
- 20 日 卒園式・卒業証書授与式

**在籍人数** 平成 27 年 4 月 1 日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男 子	小学生	0	4	4
	中学生	5	3	8
	その他	0	0	0
	計	5	7	12
女 子	小学生	2	0	2
	中学生	4	1	5
	その他	0	0	0
	計	6	1	7
合計		11	8	19

### 編集後記

今年も無事に、卒園式を執り行うことが出来ました。新しいスタートを切った卒業生、卒園生の皆さん、今までの若竹学園での生活を糧に頑張ってください！児童指導員 吉田 加世

### 第 254 号発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp/>

(1 月 1 日より HP が変更しています)

Eメール [wakatake@mail.netwave.or.jp](mailto:wakatake@mail.netwave.or.jp)

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈